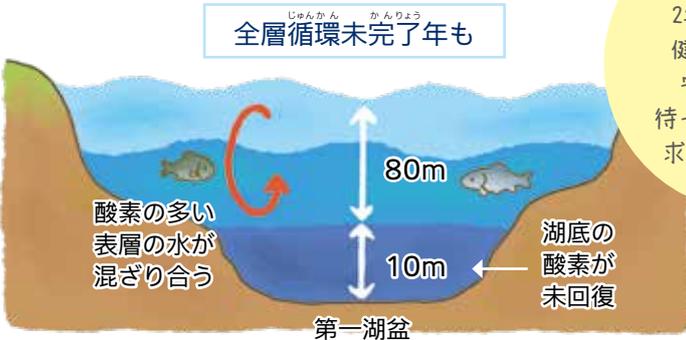


温暖化の影響は
身近な琵琶湖にも

琵琶湖の深呼吸

琵琶湖では、例年冬に確認されてきた、酸素を多く含む表層の水が冷やされ、下層の水と混ざり合う「琵琶湖の深呼吸＝全層循環」が、確認されない年も出てきました。

琵琶湖の現状のイメージ図



2019年と2020年は、2年連続未確認。健康な琵琶湖を守っていくため待ったなしの行動が求められています！

お問い合わせ 県庁温暖化対策課

TEL 077-528-3494

e ondan@pref.shiga.lg.jp

お問い合わせ 県庁森林政策課

TEL 077-528-3914

e dj00@pref.shiga.lg.jp

お問い合わせ 県庁琵琶湖保全再生課

TEL 077-528-3460

e dk00@pref.shiga.lg.jp

滋賀の未来はどう変わる？



未来を変える

くことをいいます。

例えば、少子高齢化が進む中で、ロボットやAIに任せられることは任せ、この時間を家族や友人との繋がりのために使う。対面が当然だった相談や申請がSNSで完結し、窓口そのもののあり方が変わっていく。

日常の中にデジタルが溶け込み、意識することなく、快適な生活が実現していく。そんな社会を滋賀県は目指して、民間企業や市町、そして、県民のみなさんと一緒に取り組みを進めていきます。

デジタル・トランスフォーメーション

10年前、スマートフォンが主流ではなかったように、30年前、通信手段はメールよりFAXだったように、デジタル技術によって、私たちの生活は、どんどん変わっていきます。遠くない未来、みなさんの生活がより豊かに便利になるように、滋賀県はDXを推進していきます。

びわ湖発 グリーン・ リカバリー GREEN RECOVERY

グリーンリカバリーとは、新型コロナウイルスからの経済回復にあたって、脱炭素に向けた気候変動への取り組みを進め、持続可能な社会・経済へ移行しようという考え方です。

CO₂ ネットゼロ ムーブメント

滋賀県では、2050年までに二酸化炭素排出量「実質ゼロ」を目指し、県民の皆さまとともに取り組みを進めていくためのキックオフ宣言を行いました。



「実質ゼロ=カーボンニュートラル」な社会とは？
温室効果ガスの排出削減と、森林保全などの吸収源確保を進め、排出量と吸収量の均衡が保たれた社会です。



お問合せ 県庁情報政策課

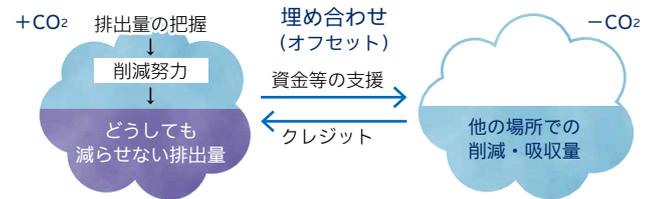
TEL 077-528-3380

e ce00@pref.shiga.lg.jp



カーボンオフセットの取り組み

カーボンオフセットとは、可能な限り排出削減の努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、排出量に見合った削減活動への投資などで埋め合わせるものです。



出典：平成26年度 カーボン・オフセットレポート



温室効果ガスの削減量や森林管理による吸収量をクレジットとして企業等に販売する取り組みを開始。2月には、日本旅行と造林公社が協定を締結し、移動により発生するCO₂排出相当額を購入できる旅プランの販売も開始しました。購入代金は、CO₂を吸収する水源林の保全に充てられます。

DXとは？

(Digital Transformation)の略。
デジタル技術により、生活やビジネスモデルに変化を起こし、豊かで快適な生活を実現していくこと。

未来につながる、

新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに、テレワークやオンライン授業、キャッシュレス決済など、少し先の未来に普及すると思われていた、デジタル化が加速度的に進みました。

DXというと難しい言葉のように感じますが、一人ひとりがより自分らしく豊かな暮らしを実現していくため、デジタル技術によって社会の仕組みを見直し、変えてい

滋賀県副知事(滋賀県デジタル社会推進本部長)

中條 絵里